



2023年5月12日

各位

会社名 三櫻工業株式会社
 代表者名 取締役社長 竹田 玄哉
 (コード番号 6584)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 CFO (兼)
 財務本部長 佐々木 宗俊
 (TEL 03-6879-2622)

特別利益・特別損失の計上並びに通期連結業績予想値と決算値との差異 及び個別業績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

2023年2月10日に公表した2023年3月期通期連結業績予想数値と本日公表の決算実績値並びに個別業績と前年実績値を比較して差異が生じたので、お知らせいたします。併せて特別利益及び特別損失の計上についてもお知らせいたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の計上

(1) 連結決算： 投資有価証券売却益（特別利益）

保有資産の効率化及び財務体質の強化のため、当社が保有する上場有価証券1銘柄を売却したことにより、投資有価証券売却益（特別利益）1,635百万円を計上いたしました。

(2) 個別決算： 関係会社株式評価損及び関係会社貸倒損失（特別損失）

連結子会社サンオー アメリカ Inc.の財政状態及び業績の悪化を勘案し、同社株式の評価損3,691百万円及び同社債権に対する貸倒損失2,312百万円を特別損失に計上いたしました。なお、これらについてはいずれも連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 2023年3月期通期連結業績予想値と決算値との差異について

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2023年2月10日発表)	百万円 132,000	百万円 500	百万円 300	百万円 △2,600	円 銭 △72.01
実績値 (B)	137,692	1,321	1,490	△907	△25.12
増減額 (B - A)	+5,692	+821	+1,190	+1,693	—
増減率 (%)	+4.3	+164.2	+396.7	—	—
(参考) 前期通期実績 (2022年3月期)	115,940	2,183	2,584	1,009	27.91

差異発生 の 主な理由

通期業績予想につきましては、3月決算会社の当第4四半期の販売が想定を上回り、為替相場が円安基調で推移したことにより、営業利益、経常利益は前回予想を上回る結果となりました。また親会社株主に帰属する当期純利益も経常利益の増加に加え、上記1.(1)に記載した投資有価証券売却益を特別利益に計上したこと等により前回発表予想値を上回りました。

3. 個別業績と前期実績値との差異について

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回実績 (A)	42,097	1,188	4,188	3,575	98.95
実績値 (B)	44,356	754	2,142	△4,000	△110.82
増減額 (B - A)	+2,259	△434	△2,045	△7,576	—
増減率 (%)	+5.4	△36.5	△48.8	—	—

差異発生の主な理由

個別業績につきましては、半導体などの供給問題の解消が徐々に進んだことに加え、海外売上に対する為替影響により増収となり、下期以降材料費高騰に対する価格転嫁が進むも、経済活動の正常化に合わせた活動再開に伴う固定費の増加及び関係会社受取配当金の減少により、営業利益及び経常利益は前期実績値を下回りました。また当期純利益も経常利益の減少に加え、上記1.(2)に記載した関係会社株式評価損及び関係会社貸倒損失等の特別損失を計上したことにより前期実績値を下回りました。

以上